

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成31年1月11日

計画の名称	浸水被害に対応する下水道整備事業（防災・安全）（重点）			重点配分対象の該当
計画の期間	平成30年度 ~ 平成33年度（4年間）	交付対象	相模原市	
計画の目標				

近年多発しているゲリラ豪雨や台風等の大雨による浸水被害を軽減・解消するため、公共下水道の整備を推進し、安全・安心な生活環境の向上を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	下水道の管渠整備により、浸水被害箇所の解消を16箇所実施する。
----------------	---------------------------------

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値 （H30当初）	中間目標値	最終目標値 （H33末）									
	0 箇所	-	16 箇所									
	0.0 %	-	100.0 %									
下水道による浸水被害箇所の解消 浸水被害解消箇所 / 浸水被害を解消すべき箇所												
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,915.0 百万円	A	3,915.0 百万円	B	0.0 百万円	C	0.0 百万円	D	0.0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0 %

交付対象事業

A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H30	H31	H32	H33					
A07-001	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	管渠 (雨水)	新設	公共下水道境川第2 8 バイパス雨水幹線 整備事業	3250mm シールド工法 L=2.8km	相模原市						3,032.0	-	-	
A07-002	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	管渠 (雨水)	新設	公共下水道津久井雨水2号幹線整備事業	2000mm 推進工法 L=0.02km 吐口工	相模原市						70.0	-	-	
A07-003	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	管渠 (雨水)	新設	公共下水道境川第1 2 - B - イ雨水幹線 整備事業	設計委託及び 2500mm×2500mm 開削工法 L=0.43km	相模原市						799.0	-	-	
A07-004	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	管渠 (汚水)	新設	公共下水道相模原系統整備事業	200mm 推進工法 L=0.09km	相模原市						14.0	-	-	
合計												3,915.0							

B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H30	H31	H32	H33					
合計												0							

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H30	H31	H32	H33			
合計												0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D 社旗資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H30	H31	H32	H33			
合計												0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

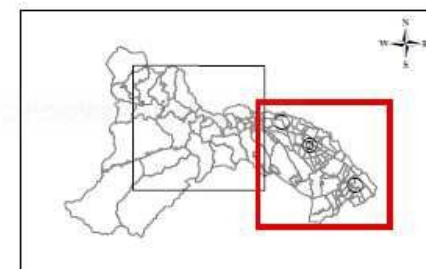
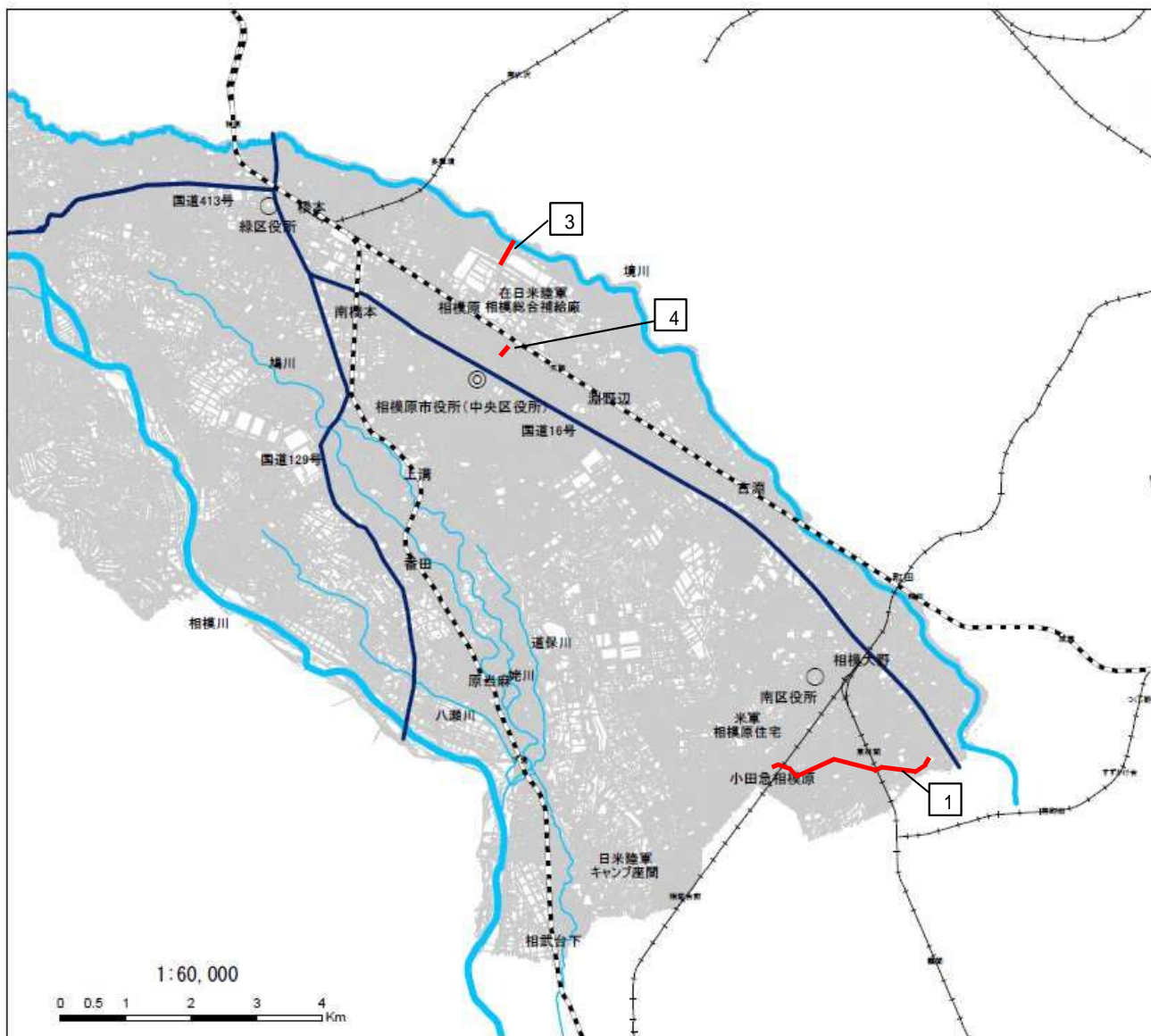
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)				
計画別流用 増 減額 (b)				
交付額 (c = a + b)				
前年度からの繰越額 (d)				
支払済額 (e)				
翌年度繰越額 (f)				
うち未契約繰越額 (g)				
不用額 (h = c + d - e - f)				
未契約繰越 + 不用率 (i = (g + h)/(c + d))				
未契約繰越 + 不用率が10%を超えている場合 その理由				

(参考図面)

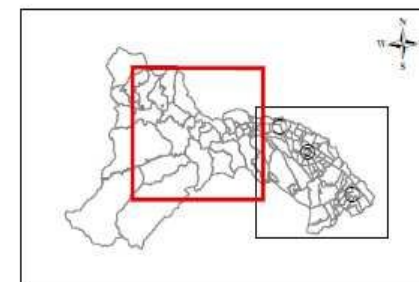
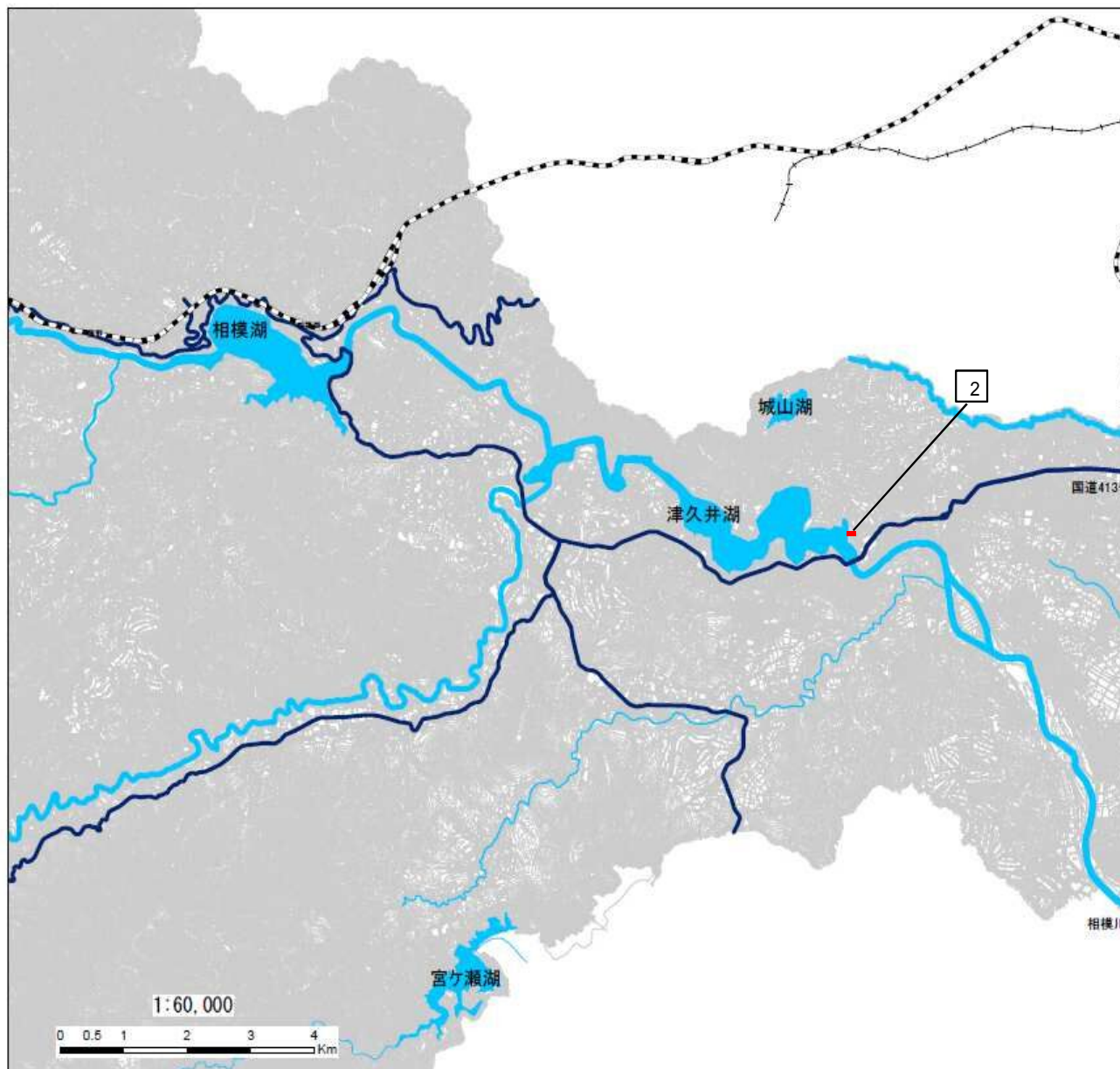
計画の名称	浸水被害に対応する下水道整備事業(防災・安全)(重点)	交付対象	相模原市
計画の期間	平成30年度 ~ 平成33年度 (4年間)		



No.	番号	事業名
1	A07-001	公共下水道境川第28バイパス雨水幹線整備事業
2	A07-002	公共下水道津久井雨水2号幹線整備事業
3	A07-003	公共下水道境川第12-B-1雨水幹線整備事業
4	A07-004	公共下水道相模原系統整備事業

(参考図面)

計画の名称	浸水被害に対応する下水道整備事業(防災・安全)(重点)	交付対象	相模原市
計画の期間	平成30年度 ~ 平成33年度 (4年間)		



No.	番号	事業名
1	A07-001	公共下水道境川第2Sバイパス雨水幹線整備事業
2	A07-002	公共下水道津久井雨水2号幹線整備事業
3	A07-003	公共下水道境川第12-B-1雨水幹線整備事業
4	A07-004	公共下水道相模原系統整備事業

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 浸水被害に対応する下水道整備事業(防災・安全)(重点)

事業主体名: 相模原市

チェック欄

. 目標の妥当性	
基本計画・上位計画等との整合性	
1) 相模原市下水道基本計画と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 1 相模原市下水道ビジョン 2 改定・相模原市雨水対策基本計画 3 相模原市緊急雨水対策事業実施計画	○
地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
2) 都市基盤の確保という観点から地域のニーズが高い	○
. 計画の効果・効率性	
目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
. 計画の実現可能性	
円滑な事業執行の環境	
1) 事業実施のための住民との合意形成が図られている。	○
2) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○